

2025年度

J r P 小 論 文

注 意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべて黒鉛筆または黒のシャープペンシルで記入することになっています。鉛筆またはシャープペンシル・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は4頁までとなっています。試験開始後、ただちに頁数を確認してください。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認してください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子とメモ用紙は持ち帰ってください。

次の文章を読み、下記の間문에答えなさい。解答は解答用紙の所定欄に記入しなさい（この間文は、読解力、独創性、論理的構成力、表現力などを見るものです）。

ある小学校（以下、A小学校とする）で、就寝時間が学力や自尊心に関連するのかどうかを検討するために、A小学校の小学生1～6年生600名を対象に、質問紙調査を実施しました。

配布した質問紙では、①平均的な就寝時間（布団に入る時間）、②平均的な睡眠時間、③学力（学期末におこなった算数のテストの点数）、④自尊心（「あなたは良い人間だと思いますか」、「あなたは思いやりのある人間ですか」など複数の質問項目に「はい・いいえ」のいずれかで回答）について尋ねました。質問紙を配布した児童（600名）のうち、6割（360名）の児童から回答が得られました。③学力と④自尊心について、就寝時間帯ごとに平均した結果を図1にまとめました。また就寝時間帯ごとの、②平均的な睡眠時間の結果を図2に示しました。

図1 就寝時間ごとにみた学力（算数）、自尊心の平均得点

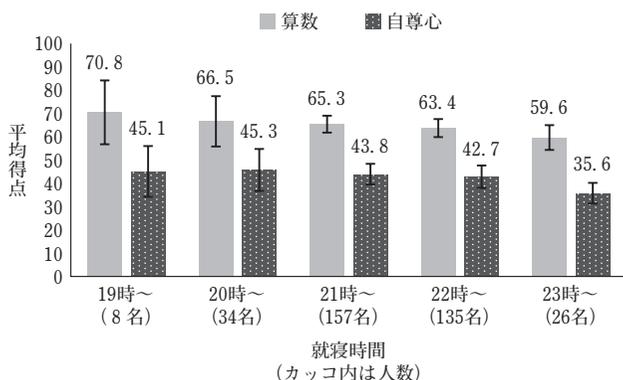
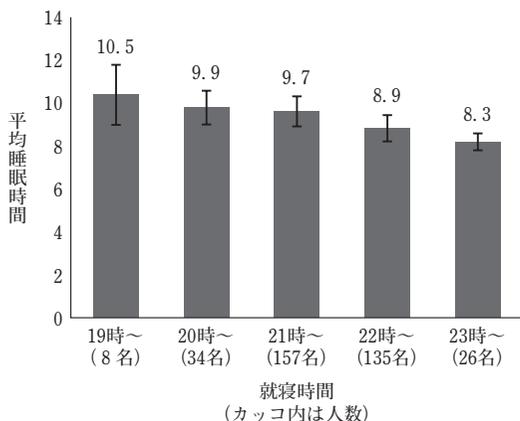


図2 就寝時間ごとにみた平均睡眠時間



問.

図1と図2の結果に基づき、「就寝時間の早い日本の小学生は、学力が高く、自尊心が高い傾向にある」と結論づけるには、複数の問題点が存在します。どのような問題点が存在するのか具体的に指摘しながら、なぜそれらの点が問題となるのかを論理的に説明しなさい（ただし、1200字程度）。

【以下余白】